



長照寺だより

わげんあいご 和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 摂取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話055-988-4242
URL <http://cyoshoji.or.jp> E-mail: info@cyoshoji.or.jp



花まつり(平成18年4月2日)



慶讃法要(平成18年4月2日)



花見パーベキュー(平成18年4月2日)



門信徒総会(平成18年5月6日)

たとえ事実でないことがあっても、人が注意してくれたときは、とりあえず受け入れるのがよい。その場で反論すると、その人は二度と注意してくれなくなる。

人が注意してくれることは、どんなことでも心に深くとどめるようにしなければならない。(蓮如上人御一代記聞書より)

門信徒会

親睦旅行

京都・五月十三日〜十四日

齋藤 加代子



賞品ゲットの意気込みで目がさめた。そして充分楽しんでる内に本願寺に着きました。

朝食は久しぶりに声を揃えて「食前食後の言葉」を言いお寺の研修を実感しました。午後は本願寺の中を隅々までゆっくり案内して戴き、小雨の中の飛雲閣はしっとりした風情が有りました。待望の夕食と宴会、何とカラオケ無しの他己紹介、自分の事でなく、右隣か左隣の人を紹介するもの。始まるまでドキドキしながら右、左を見ながら自分の事を喋ったり聞いたり、食べたり時間。どうなる事かと思っていましたが皆堂々、聞いた事に自分の思いを勝手に付け加えたりして爆笑の連続、大いに盛り上がりだしてどっぷり参加した気分になりました。



国宝・飛雲閣

翌日は雨の予報がはずれて窓から朝日が差し込み、予定のコースで比叡山に行くことができました。山までの道は、雨あがりの樹の緑と山藤の紫でいっぱい、きれいーきれいーの連発でした。

延暦寺では、仏教の灯明が二〇〇年の間一度も消えることなく現在まで守られているとのこと、驚きました。「油断」の油は、この灯明の油からきているとのこと。

ケーブルカーで山を下り、名物のそばを食べて、海のように大きい琵琶湖をみながらガイドさんの案内に解ったような顔をして頷きながら帰ってきました。

最後に、長照寺の本堂に上がって皆でお念仏を申し上げ、楽しかった旅行から無事帰ってきたことを阿弥陀様に感謝報告しました。

合掌



比叡山・根本中堂前にて

二〇〇六年度 東京教区静岡東組
門信徒会運動研修協議会

門信徒の集い

(伊東・寶専寺)

五月七日

尾澤藤代



新緑の五月七日(日曜日) 静岡東組門信徒の集いが伊東の寶専寺さんで開かれました。当日は残念ながら小雨模様でしたが我が長照寺自慢の小型バスと住職の愛車で十七名が参加致しまして各寺総勢百数名と盛大に行われました。

本堂で寶専寺ご住職様のお勤めで始まり、善教寺ご住職組長様のご挨拶、平成二十三年度親鸞聖人七百五十回大遠忌のお話など意味深いものでした。



永六輔氏・中山千夏氏講演



ドラム缶演奏

十一時頃から永六輔さんの講演がありました。美しい庭園での園遊会は十九回続いているようですが今年是小雨模様という事で二階の大広間と下の本堂に分かれてテレビに映し出されました。ラジオの子供番組等、色々子供達とのやり取りは大人では想像もつかない事柄を身振り手振りでユーモアたっぷりに話されました。また人類始まって三十六億年、それからずっと生命(いのち)が続いているのですと言う内容を受けて、三十六億年プラス自分の年齢ですと、命の尊さを熱演されました。お寺でも定例法座で住職が常々言われているので、これからの人生自分らしく楽しく生きて行くという事、大変参考になりました。途中から中山千夏さんが出てこれ永さんと歯ぎれの良い会話がポンポンとでてきて楽しい一時を過ごしました。

小雨の中、地元青年音楽隊によるドラム缶演奏があり、童謡みかんの花咲く丘や懐メロ等十数曲演奏し昔を懐かしみました。来年も是非参加したいです。皆様ご苦勞様でした。 合掌

活動報告

平成十八年上期

寺報発行十五号

二月十二日

東京教区仏教壮年研修会

二月十二日～十三日

伊豆の国市にて

春季彼岸会

三月二十一日

寶福寺（下田） 竹岡幸徳
住職のお話



祝入学慶讃法要

四月二日十時

ご入学おめでとう

田中 弥君（高校）
尾澤 和真君（小学校）

「命のつながり」、「命の尊さ」を伝えていく法要です。

※表紙右上に写真掲載

花まつり釈尊降誕会

四月二日十二時

門信徒一同でお釈迦様の誕生日を祝いました。

花見バーベキュー

四月二日十四時

雨のなかのバーベキューは「参った？参った？」

門信徒会親睦ボウリング大会

四月九日

参加者二十二名

ジョイランド三島にて

第四回目

優 勝・藤澤 博さん

準優勝・藤澤さと子さん



優勝 藤澤 博さん

準優勝 藤澤さと子さん

門信徒会親睦ゴルフコンペ

四月二十一日

参加者三十二名

三島ゴルフクラブ

優 勝・長島政信さん

準優勝・柳田英雄さん



優勝 長島政信さん

東京教区仏教壮年会 会長会議・総会・研修会

四月二十三日

築地別院にて

初参式

四月二十九日

誕生の喜びを仏様に報告し、感謝するお参り

藤澤 月樹(つき)ちゃん



門信徒会総会

五月六日

おかげ様で各議案とも御承認されました。

第五議案 親鸞聖人七百五十回大遠忌の懇志について

※皆様の香資、ご香料をまとめて御本山に納めたく
お願い申し上げます。今年十二月までに一口以上宜しく
お願いいたします。 門信徒会 総代・世話人より

静岡東組門信徒会の集い 寶専寺園遊会

五月七日
伊東市寶専寺にて

永 六輔氏・中山千夏氏のお話が聞けました。

門信徒会親睦研修旅行

五月十三日～十四日

京都・西本願寺参拝 一泊二日

初日は雨で、本山の参拝と見学(すみずみ?)しました。
二日目は五月晴れで比叡山方面に!

静岡東組十八年度組会・ 総代研修会

五月二十六日
善教寺にて

東組の年間行事や収支決算など各寺院代表者で審議致しました。研修会は熱心に…。

第一連区仏教壮年会

五月二十七日～二十八日

齋藤会長より報告があります。(7ページ)
教化センター札幌別院



今後の活動予定

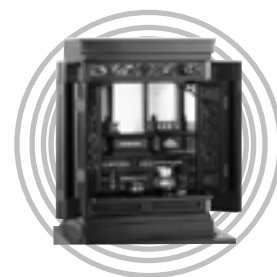
7月23日(日)	境内清掃作業・親睦懇親会	境 内
8月13日～15日	合同盆法要(計8回)	本 堂
9月1日～6日	第13回世界仏教婦人会大会	ハワイ
9月23日(土)	秋季彼岸会法要	本 堂
10月14日～15日	文化発表会	生涯学習センター
10月 日()	門信徒親睦会ゴルフコンペ	未 定
11月19日(日)	報恩講・座談会・茶話会	本 堂
12月3日(日)	境内清掃作業	境 内
12月31日(日)	除夜会	本 堂
平成19年度		
1月4日(木)	修正会及び新年会	本 堂
2月11日(日)	寺報(第17号)発行	

※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。
 ※定例法座は毎月第1土曜日 午後7時より本堂にて開催。
 ※その他に親睦の集いを募集・計画中。

日頃の忙しさから解放されて
 気持ちが軽くなる自分を発見
 できるかもしれません。

豆 知 識

仏 壇



◎ 仏壇とは、迷える私たちをお救いくださる阿弥陀様を
 ご安置するために置くもので、最も尊厳な場所であり、
 家庭生活の中心となるものです。

◎ うちには亡くなった人がいないから、仏壇はいらないと
 考える人がいますが、とんでもない間違いです。仏壇は、
 死者や位牌のためのものではありません。日々を生きる力
 のもとである如来さまのお慈悲に、私があう場所です。

◎ 仏前に家族揃っておまいりして、謙虚に如来さまの大悲
 を仰ぐ家庭でこそ、本当の幸せな家庭といえるでしょう。

◎ 仏壇はそまつにならないで、しかもみんなに親しみやす
 いところにおきましょう。

◎ 仏壇をもとめることについて、さまざまに迷信や誤解が
 あるようですが、そんなことにとらわれないようにしましょう。
 よう。新たに仏壇を求めることは、家庭に心のともしびが
 ともる、めでたいことです。そのときにはご住職に相談し
 て、入仏式(入仏法要)をおつとめいたしましたしように。

浄土真宗 必携より

第5回 第一連区 仏教壮年研修大会 参加報告

日時 平成十八年五月二十七日

仏教壮年会 会長 齋藤善治



二十八日(日)

場所 教化センター札幌別院

参加者 長照寺 齋藤(記)、藤澤

テーマ 「いまをどう生きるか」

〜見つめよう、いのちの尊さを〜

…五月二十七日…

御門主様ご祝辞

研修会に当たって、念仏者の責務について御門主の希望が示された。

大会会長・実行委員長挨拶

体験発表(二名)

次の二つのテーマ「浄土真宗の門徒として壮年会を思う」「親鸞聖人との出会い」で自分の体験発表があり、私にとっては新鮮な気持ちで聞かせてもらいました。

記念講演

講題「やさしい真宗入門」 講師 梯(かけはし)實圓氏

概要

「いのちをどう考えるか、いのちは慈悲のところでしかみることができない。」

慈悲のころについて、「ジャータカ物語」の説話で説明を下された。



鷹に追われた鳩が王様のところに逃げ込んだために、鳩を取り返そうとする鷹と、鳩を助けようとするシビ王とのやりとりである。鳩と同じ位の肉(王様自身の体から)を鷹に返すために秤にかけるが、いくら増やしても鳩との釣り合いがとれなかった。王様も秤に乗って初めて釣り合いがとれた。この秤は、「いのちの重さ」を計るものだったので。

このような仏様の秤を「慈悲」と呼び、いのちは慈悲の心で見えないのである。

慈悲の「慈」は、純粹な友愛で最高の友情を云う。また「悲」は、うめきをいい、痛みの共感を意味し、二つが一つになって、生とし生けるものに対する、いつくしみ、あわれみの情を意味する。人間の秤でなく、仏様の秤・慈悲のころを振り所としなければならぬ。

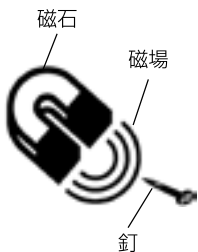
「真宗とは、自力を捨てて他力に帰する」

仏教における救いの方程式は、一般に次のように表されるが、真宗の特徴は、自力を捨てて他力に帰することである。

自力	+	他力	=	救い
九〇%		一〇%	↓	聖堂門
一〇%		九〇%	↓	浄土宗
捨てる		一〇〇%	↓	真宗

念仏の声は、如来様から私に届けられた招待状であるから、素直に受けなければならぬ。如来様は、私を念仏をいただく人に育ててくれて、浄土に連れていくのです。

念仏を楽しみ人間に変えられていくのは、釘が磁石の磁場に触れると吸い寄せられるように、如来様の力に触れたことなのです。磁石のように、如来様の力に吸い寄せてもらえるのです。



レセプション 札幌全日空ホテル

御門主様も出席され、和やかな雰囲気であった。

東北の門信徒のなかに知り合いもあつて、仙台別院の河村先生、長照寺住職とのつながりについても知ることができ、不思議な縁をいただくことができました。



…五月二十八日…

おあさじ

講演 前日の続き

話し合い法座

差別問題(アイヌ差別、女性蔑視)、仏教活動の活性化などが話題になった。

決意表明

第二連区仏教壮年会として取り組む四つの活動内容を全員で確認し、積極的に活動していくことの決意表明がなされた。

私の感想

① 御門主様が最初から最後までご臨席され、仏教壮年会に対する並々ならぬ期待を示されたことから、我々も本気で取り組まなければならないとの思いを強くしました。

まずは、自分の足下の長照寺で出来る新たな活動について考えてみたいと思います。

② 今回、真宗門信徒として二名の方が体験発表を行った。このような念仏者としての個人の心の内を聞かせて貰うのは初めてのことである。キリスト教のように、浄土真宗でもこのような個人の宗教体験すなわち心の内を他人に話をするということについては驚いた次第である。門信徒の人たちが、何を求めて寺に参るのか各人様々であると思うが、念仏者としての信心を深めようと努力している方の姿をみて、このような人たちが居るのだということに気付かせてもらった。未だ恩徳讃の歌の意味も判らずにいる自分が恥ずかしい。



京都研修旅行(5月13~14日)

御本山 総御堂前にて

第2回長照寺文化発表会 のお知らせ

お寺っていろいろな人が集まりますね。
中には絵を描くのが好きな人、写真を
撮るのが好きな人、俳句を作ったり短歌
を作ったり、鎌倉彫りまでしちゃう人、時に
は端切れで服まで織ってしまう人、書
道(草書なんかちょっとわからないけど)
が好きな人などなど、格好いいと思うよ。

皆で集まって見せっこしてみましょうよ。
きっと楽しいはずだよ!!

住職より

※募集の詳細は後日連絡します。

お知らせ

親鸞聖人のご法要をみんなで勤めたいしましょう

来る2012年は聖人の750回忌にあたります。京都ご本山本願寺では修復を終えた御影堂に於いて、大遠忌法要が勤められます。

私達の悩みを解決してくださるみ教えを、生涯かけて弘められ、お念佛の大道を示されました。聖人の御遺徳を日々偲ばせて戴く事はもとより、此度のご法要は50年に1度のお勤めです。

このようなご勝縁に出遇える事は私達門信徒にとりましても大変な喜びなのです。

そこで、このご法要を中心としてお念佛のお教えが更に弘まる為の長期計画が私達の教団(本山)で立てられました。

つきましては、全国のご寺院、門信徒の皆様にご懇志をお願いして財源を確保させて戴き、多様な記念行事推進に役立てるものです。どうぞ深いご理解とご協力をお願い致します。

先日長照寺総会でご決定戴き既にお収めくださいました方々には感謝申し上げ、ここに住職としての思いを述べさせて戴き、ご一緒に本山へ参拝いたしましよと申し上げます。 合掌

心の窓を開く

ラジオ法座

FM三島函南 77.7MHz

毎週水曜日

お話/当山住職

朝7時45分(5分間)

●法話をまとめた小冊子第1~5巻が
発行されています。
お尋ねください。

編集後記

☆お寺からのお便りは、家族皆さん必ず読んで頂く習慣をつけましょう。

☆お寺は「よろず相談処」です。
日頃悩んでいる事がありましたら何でも
ご相談ください。

☆次回寺報は、平成19年2月11日発行予定です。

●ご意見・ご要望は、寺務所まで

〒411-0044三島市徳倉1195-817

TEL・FAX 055-988-3900

編集人=長島・菊沢・斉藤・園田